



第 258 回例会

日 時:平成 29年 4月 13日 (木) 11:30～13:30

場 所:八王子エルシィ

出席者:64名 出席率 97%

(会員総数 69名 欠席 2名 休会 3名)

1. 開 会 宮城例会委員長

第 258 回例会を開催します。(配布資料の確認)

2. 挨拶 岩島 会長

皆さん今日は、春爛漫のいい季節になりました。桜も満開をやや過ぎましたが、お花見は堪能されましたか。

桜と言えば、私は平安末期に生きた大歌人の西行法師を思い浮かべます。



西行の桜への思いは異常なほどで、彼の 2,090 首の歌の内 230 首が桜を詠んだ歌であります。その中でも有名な歌は、皆さんもご存じの「願はくば花の下にて春死なんその如月の望月のころ」という一首です。

八王子の野口英世と言われる肥沼信次博士がドイツで亡くなる最後の言葉も「日本の桜が見たい。日本の桜は綺麗だよ。あの桜を見せてあげたい。」という言葉だったそうです。

桜の花には私達日本人にとって何か死生観と云いますか、生命に関わる美しさがあるのではないのでしょうか。あの満開の艶やかな美しさとか、あの散り際の淡白で潔い美しさとか……何か深い安らぎを与えてくれるものがあるように思われます。

さて、今月は嬉しいニュースが二つあります。一つは、岡本会員が元気になられて復帰されました。もう一つは、新入会員をお二人もお迎えすることが

出来ました。大澤敬之様と杉田信夫様であります。お二人には、後程ご挨拶を頂きたいと思っております。

そして今日の卓話は、佐々木秀勝会員より「創価大学と私 地元で愛される大学に」と題してお話を伺います。大変楽しみであります。

今日はこの例会に引き続いて、第 3 週目の生涯学習サロンを開催致します。楽しく和気あいあいとした有意義なサロンとするために、皆さんのご協力をお願いします。

以上をもちまして挨拶といたします。

3. 新入会員紹介

紹介者の杉山会員より、新会員の大澤敬之さん、杉田信夫さんのお二人のご紹介がありました。

<大澤敬之会員>

大澤敬之さんは市内加住町にお住まいで、昭和 22 年生まれの 69 歳です。現役時代の職場は、農林水産省生産局で野菜行政のプロフェッショナルです。

退官後の現在は、農業に勤しむ傍ら、加住地域の連合町会長や人権擁護委員、八王子警察署協議会の委員等々を務められ献身的に奉仕活動をなさっております。又更には、お住まいの加住地区にご当地ソングを作って、それを歌う演歌歌手、植松しのぶさんの後援会長でもございます。

皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

<杉田信夫会員>

杉田信夫さんは市内檜原町にお住まいで、昭和 23 年生まれの 69 歳です。お仕事は社会保険労務士で三多摩労働保険協会を主宰しております。事務所は清川町にございます。

私と杉田さんとのご縁は、日野プロバスクラブの副幹事をなさっている大島さんが、同じ社会保険労務士仲間ということで、ご紹介を頂いたということ

でございます。

杉田さんは、そろそろ次の世代にバトンを渡して、ご自身は第一線をセミリタイアなさると云うことでプロバスクラブにお入り頂く運びになりました。

皆様どうぞ宜しくお願いいたします。

大澤敬之(のりゆき)新会員のご挨拶



ご紹介頂きました大澤敬之でございます。

八王子の北部地域の加住丘陵の下で育ちました。40年程霞ヶ関や沖縄などに勤務しております、八王子にはおりませんでした。退職と同時に

何もできなかった地域へのボランティア活動として、地域の14町会の連合会長を務めております。

事業の一つとして、八王子加住音頭を作りました。これは皆で町会を盛り上げようとする応援ソングであります。盆踊りや夏祭りなどで歌って踊ってと言う事で作りました。

趣味としましては菊の懸崖とか三本作りなどにも取り組んでおります。何かの機会にご披露できたらと思います。どうぞよろしくお願い致します。

杉田信夫新会員のご挨拶



杉田信夫でございます。よろしくお願ひ致します。私は33年ほど前に八王子に引越して参りました。社会保険労務士の資格を取って立川市で仕事を始めたのですが、ほとんどのお客様が八王子の企業の方々だったこともあり、八王子の檜原町に自宅兼事務所を開設しました。5年、10年と努力を致しまして生活にも余裕ができるようになり、今、若い人を仕込んで後継者づくりを進めております。

杉山さんに、この会は60歳以上でないと入会できないと言われ、私より年上の方々ばかりの会で、戦後日本の経済を支えてこられた方々とお友達になれる、私にとってもプラスになるものと考え参加させて頂きました。

大変にありがたく感じております。どうぞよろしくお願い致します。

4. ハッピーコイン披露

武田副会長からハッピーコイン14件の披露がありました。(5ページに掲載)

5. パースデーカード贈呈

4月生まれの塩澤勉夫会員、佐々木研吾会員、内山雅之会員、池田ときえ会員(写真左から)に、池田会員お手製のパースデーカードが会長から贈られました。(井上克会員は欠席)



6. 卓話

『創価大学と私 地元へ愛される大学に』

佐々木秀勝 会員



北海道出身の私は1972年創価大学経済学部に入學して以来、八王子市在住45年になります。学校法人創価大学はその前年1971年4月開学、経済・法・文の3学部800人でスタートしました。

創価大学は八王子生まれ、八王子育ちの満46歳になりました。「地元へ愛される大学に」との思いで、その生い立ちを紹介したいと思います。

1930年、牧口常三郎創価学会初代会長は、『創価教育学体系』(第1巻)を世に問いました。「創価」とは、価値の創造を意味し、その価値の中心は生命であり、その生命の尊厳を守る平和という「大善」に向かって挑戦を続ける「創造的人間」の育成、それが創価教育の眼目です。

この牧口の透徹した生命尊厳の思想は、その弟子戸田城聖第2代会長に引き継がれ、そしてその遺志

を継承した池田大作第3代会長によって、創価教育の理念を実現するため創価大学は創立されました。

建学の精神

- ・人間教育の最高学府たれ
- ・新しき大文化建設の揺籃たれ
- ・人類の平和を守るフォートレス（要塞）たれ

創立者は開学の日に、

英知を磨くは何のため 君よ それを忘るるな
 労苦と使命の中にのみ 人生の価値(たから)は生まれる

との指針を学生に贈りました。世界の平和、民衆の幸福という使命を忘れることなく、真摯に学問に取り組む労苦のなかから、創造的人間が生まれる—それが創価大学です。



〈データで見る創価大学〉

- ・校地面積 約 87 万平方メートル (263, 600 坪)
- ・学部学生数 7, 502 名・大学院生 413 名
- ・創価女子短大の学生数 543 名 計 8, 458 名
- ・創価大学・短大の専任教員数 375 名
- ・事務職員数 約 200 名 合計 9, 000 名超

〈学生の実績・活躍〉

- ・教員採用試験合格者(2017年1月現在)約 7, 100 名
 - ・司法試験合格者数 (2016年9月現在) 324 名
 - ・公認会計士試験合格者(2016年11月現在) 225 名
 - ・税理士試験合格者数 (2017年1月現在) 205 名
- 〈創価大学は学生第一、各クラブも八王子で活躍〉
- ・「はちおうじこども食堂」の開設(2015年2月)
 - ・八王子特産米を使用した米粉パンを地元製パン会社と共同開発(2016年12月)
 - ・八王子夢街道駅伝への参加。陸上競技部駅伝部 B チーム優勝・A チーム準優勝(2017年2月12日)
 - ・八王子出身の医師・肥沼信次博士の生涯を描いた演劇「七十一年目のサクラ」を上演。(演劇グループ「劇衆オの組」)(2017年3月8日)



7. 幹事報告

飯田幹事

・今月の卓話も大変興味深く聞かせて頂きました。私も大学構内は見学させて頂いたことがありますが大変充実していることに感激しました。ますますの学生のご活躍を期待しています。ありがとうございました。

・サロンの聴講者から電話を頂きますがその中で印象的な内容のものがありました。

「このサロンを3年前から知り毎回大変楽しく聴講させて頂いています。八王子に引っ越してきてこのサロンに出会えたことが八王子に来た最大の収穫です」というものです。

生涯学習サロンの社会的貢献が相当大きいものであることを再確認しました。

8. 委員会活動報告

(1) 例会委員会

宮城委員長

第 258 回例会の出席状況の報告。

本日お二人の入会により、会員総数 69 名となり、

休会中の会員は3名です。

(2) 情報委員会 有泉委員長

「プロバスだより 257号」お手元にお届けいたしました。今回は佐々木正委員が編集を担当されました。寄稿を率先してお出し頂きますと助かります。よろしくお願い致します。

(3) 会員委員会 土井俊雄委員長

先ほどご紹介がありましたように、大澤敬之氏、杉田信夫氏のお二人がメンバーに加わりましたことは、大変に喜ばしいこととあります。また岡本会員が体調を回復され復帰されました。おめでとうございます。お手元にお二人の会員名簿の追加をお配りしてあります。名簿に貼付してください。

(4) 研修委員会 池田委員長

今日の卓話により創価大学での若い人たちの活躍がよくわかりました。5月例会の卓話は白柳会員を予定しております。

(5) 地域奉仕委員会 持田委員長

日頃皆様には大変ご協力を頂きましてありがとうございます。お陰様で本日はサロンの第3週を迎えることができました。この後も大きなイベントが続きます。4月27日の野外サロン、そして5月11日の閉講式・さよならパーティーです。引き続きご協力をお願い致します。

参加者の状況を報告いたします。第2週のサロンは一般会員84名、プロバス会員50名で計134名でした。また、野外サロンについては、参加者・入金状況は一般会員38名、プロバス会員27名で計65名です。特にプロバス会員の参加が少ないので、より多くの参加を希望します。総参加者を90名近くまで増やしたいと思っております。

今後は閉講式・さよならパーティーの準備を進めて参ります。さよならパーティーではシニア・ダンディーズとフラダンス同好会の出演を願う予定にしております。

(6) 交流担当 浅川理事

報告事項なし。

(7) 八王子「宇宙の学校」 下山PJリーダー

本日は3種類の資料をお配りしました。これについてお話しします。

① 第1は1枚物で、29年度八王子「宇宙の学校」へのご協力のお願いとアンケートで、全員の方に配

りました。八王子「宇宙の学校」の日程を示してあり、どの日にご協力頂けるかをお尋ねするものです。本日お帰りまでに記入され、提出をお願いしたいのですが、できなければ、内山会員のTEL、FAX、メールアドレスが書いてありますので、今月中にご連絡をください。

② 第2は28年度八王子「宇宙の学校」レポートです。今年も立派なレポートができました。28年度「宇宙の学校」の実施報告と考えてください。全員に配布しました。但し、既にお渡しした方は省いてあります。

③ 第3は黄緑色表紙の29年度八王子「宇宙の学校」運営マニュアルです。これは昨年度までご協力いただいた方を中心に配りました。今年度のご協力の方が決まれば、これを用いて今年の進め方を相談します。5月中には行いたいと思っています。

9. 同好会活動報告

特記事項なし。

10. プロバス賛歌斉唱

11. 閉会

武田副会長

例会出席お疲れ様でした。

世間では新年度、学校や会社では新入学、新入社のときですね。プロバスでもお二人の方が入会されました。戦後生まれの方々で、プロバスでは若手です。大いにお力を発揮され、活躍されますことを期待いたします。

佐々木さんの卓話、地元根付いての学園活動の様子がよく分かりました。

さて、先月紹介のありましたプロバスケットチーム、東京八王子トレインズの戦果ですが、ファイナルステージで只今8連勝中です。

残り15日、16日の2連戦が、立川泉市民体育館で行われます。

また、30日には道の駅滝山でクラブのPR、グッズの販売も行われますので、お買い物の序でお立ち寄り下さい。

これから、生涯学習サロン第3週の開講です。皆様、それぞれのご担当業務について、ご協力をよろしくお願い致します。それでは、4月例会を閉会と致します。さようなら。

ハッピーコイン

◆岡本会員、お帰りなさい。大澤敬之様、杉田信夫様の入会を心より歓迎いたします。プロビアン生活を楽しんで下さい。
岩島 寛

◆今日からお仲間に加わって頂く大澤会員、杉田会員をご紹介します。皆様よろしくお願ひ致します。

杉山 友一

◆新会員の大澤敬之様、杉田信夫様のプロバスクラブへの御入会を歓迎申し上げます。同好会活動等を通して早く皆様との交流を深めて下さい。よろしくお願ひ致します。

飯田富美子

◆「生涯学習サロン」が順調に進んでおります。皆様のご協力に感謝しつつ、今後もどうぞよろしくお願ひします。

田中 信昭

◆ダイヤモンド婚 60 周年を迎えました。お互いの忍耐です。

大串 延子

◆81 回目のバースデーを 4 月 1 日に迎えました。こうして皆さんと一緒に過ごせる幸せを感謝しております。

塩沢 迪夫

◆曾孫が小学一年生。入学式の写真が届きました。ツウコイン。

渋谷 文雄

◆桜満開。ややお天気に恵まれませんでした。京都、吉野を駆け足で巡りました。

下山 邦夫

◆かつて軍国少年だった私は、20 歳までの寿命とっておりました。それがその 4 倍を超え、80 歳代の半ばに達しました。平和なればこそです。この先、池田さんのカードを何枚頂けるのでしょうか。

佐々木研吾

◆長い間お休みを頂き、皆様方には大変御迷惑と御心配をお掛け致し、誠に申し訳御座居ませんでした。又、お電話やお手紙等いただき有り難う御座居ました。お陰様で現在もリハビリ中で完全には回復していませんが、出来る範囲の中で務めさせていただきますので、今後共よろしくお願ひします。

岡本 宝蔵

◆4 月 2 日に結婚 50 周年を迎え、子供達家族が集まり、金婚を祝ってくれました。

馬場 征彦

◆映画「ラ・ラ・ランド」の舞台ロサンゼルスのリフィス天文台へ行って来ました。一昨日帰国。

野口 浩平

◆小学校から高校まで一緒だった男で、現在福井で医者をやっている友人が一念発起、オペラアリア、カンツォーネに挑戦。先日紀尾井ホールで何人かとコンサート。すばらしい歌声で 70 越えてもまだまだやれると大いにハッピーと元気をもらいました。

一瀬 明

◆所属する八王子由井吹奏楽団の春の演奏活動が完了しました。

① 3 月 19 日 第 30 回定期演奏会(いちょうホール)

② 3 月 26 日 子安町会さくら会依頼演奏会

(医療刑務所三心館)

③ 4 月 8 日 西片倉町会花見の会演奏会

(片倉つどいの森公園)

これからも地元のご支援に応じてゆきます。

武田洋一郎

寄稿

IT講習会の思い出

白柳 和義



今から 16 年前、国の補助事業として「IT講習会」が実施された。この事業の八王子市に於ける想定対象人員は 16,800 人、事業費 1 億 5,800 万円であった。

基準としては、1 講座は 20 人程度で 12 時間とされていたため、840 回の講座開催となる。準備は説明会が行われた 11 月末から 3 ヶ月間、この間に会場の確保及びパソコン購入等インフラの整備やインストラクターの確保を行わなければならなかった。

講習開催に当たっては、市の施設で行う直営講習のほか、外部への委託講習が認められていたため、商工会議所や市内の大学等にもご協力いただき、最終的には直営講習 713 回、委託講習 160 回(会議所 130 回、大学等 30 回)の合計 873 講座、募集定員 18,804 人(応募延べ人員 29,694 人、受講者 15,136 人)と、当初計画を上回る講習が実施できた。

他の自治体では、民間企業への丸投げ委託により実施されたところもあったが、同じやるなら市民の皆様喜んでいただける講習をとの意気込みから、

私の一句～4月の句会から

河合 和郎

3月号の山形忠顯さんの入選句は「春暁に覚め得ぬ夢や池ばかり」でした。訂正して再掲します。句会は益々活発化、午後の半日が足りないほど。

雪洞の明かりの波や花筏 矢島 一雄

夜桜の様子をうまく詠んだ。千鳥ヶ淵の光景が浮かぶ。「花筏」は桜の花びらが水面に浮かぶ様。

ふるさとはしろつめ草の満ちるころ 池田ときえ

新潟高田の故郷を詠む。姿を消してしまった懐かしい景がふと蘇る。しろつめ草はクローバーのこと。

ご飯だよ一れんげ畑はあかね雲 田中 信昭

昔の里暮らしにはいつでも見られた光景。母のつぶ声。平穏な一日が暮れようとしている。

露味噌を酒のつまみに傘寿翁 飯田富美子

ちびりちびりと悠々自適の日々が彷彿とされる。人生百年の時代。まだまだ味わい深い人生が。

うど酢味噌母の味には程遠く 立川富美代

母恋のうた。おふくろの味は味覚だけではない要素が多い。私の子には私の味が母の味になる。

学友の受賞のメール春に舞ふ 馬場 征彦

座五の「春に舞ふ」の措辞は受賞の喜びと季節感が溢れていて秀。それにしてもメールはもう日本語。

学びても駄句ばかりなる春句会 渋谷 文雄

「学」の課題の一句。句会の最長老の句評は鋭い。謙遜は自信の裏返し。これからも沢山の佳句に期待。

新入生ピッカピッカだスキップも 山形 忠顯

ピカピカの一年生の登校風景をリズムカルに表現。真新しいランドセルがスキップで揺れている。

轉りが止むや忍者となる雲雀 東山 榮

中七の「忍者」の発想が秀逸。大空で轉る雲雀は見られても、地上ではまず見られない。正に忍者。

八十路とは早瀬のごとし春逝けり 河合 和郎

「光陰人を待たず」を早瀬の流れに例えた。「春の海終日のたりのたりかな」の境地になりたいもの。

編集後記 花吹雪の真っ盛りに編集に専念。校了してふと気付くと里山の新緑が目眩しかった。ページ建ての都合で寄稿の掲載を先送りした方が数人。申し訳ありませんでした。

情報委員会・河合和郎

託児所付きの「子育て支援コース」、手話通訳を付けた「聴覚障害者優先コース」、更には音声読み上げソフトを活用した「視覚障害者コース」、「外国人コース」等も実施した。また、講師については、大学生を中心に配置することとし、視覚障害者の講習に際しては市民ボランティア団体のご協力により実現することができた。

講習の中で感激したことは、視覚障害者コースで、初めてパソコンに触れた80歳になる女性の方が、終了時には「さくら」の歌を入力されていたこと。50歳代の男性は音声によるパソコンゲームの体験を通じ、「今まで子供とゲームをしても自分のハンデについて子供が気を遣ってくれているのがつらかったが、このゲームなら対等に楽しむことが出来る。」と語られていたことである。

また、高齢者の方が今後、足が不自由になって外出できなくなっても、メールを覚えればやり取りできるとお話をされていたことも印象に残っている。

この様に、ハンディキャップのある方や高齢者の方が前向きに臨まれている姿に接したとき、IT技術が私達の生活に無限の可能性を与えてくれることを実感し、講習会が少しでもお役に立てたかと喜びをかみしめたところである。

<つづやき>

会員1年を経て

佐々木秀勝

杉山理事の推薦を受けてプロバスクラブの会員になり、1年が過ぎました。

「宇宙の学校」の運営をスムーズに行うため学生の力を得たいとのお話が創価大学にあり、その窓口としての役目を仰せつかり、若い？ながらも、ご縁ができ今日に至っております。

幸い宇宙の学校の学生ボランティアの募集は理工学部の藤原準教授の多大な協力を得て順調に進み、ボランティア活動も無事故でこの1年終えることができました。今後も継続していく学生の流れもでき一安心しているところです。

後は、暢気に月1回の例会に出席していれば自分の役割は十分と置いていたところ、情報委員会、寄稿、卓話の準備等、忙しさは結構なもの。

会員になった以上は逃げられないと、あらためて会則を見直し、覚悟を決めました。諸先輩の皆様よろしくお祈いします。